

2024年11月16日（土）11:55～13:00

1. 役員改選について

会長より、役員改選について説明があった。

役員（理事）の選任について、研究者理事についての基準、実務家理事の選任基準について説明と話し合いが行われ、承認された。

なお、現在の役員の数、学会則など、設立当初の文部科学省のオープン・リサーチ・センター整備事業の関連から、大規模なものとなっているが、現在の学会の規模に合わせて、変えていく方針であることが説明された。そのため、理事会で発議し、その後、総会にて決定するプロセスで進めていくことが確認された。

2. 第30回研究大会の開催について

会長より、来年2025年3月8日（土）に、第30回大会を開催する予定であることが説明された。第30回の記念すべき大会であり、本学会の設立元である立教大学（立教大学大学院ビジネスデザイン研究科）において開催することを検討していることが伝えられた。

広報委員より3月15日は、ビジネスデザイン研究科の方でイベントがあるため、3月8日が望ましいことが説明された。

立教大学大学院ビジネスデザイン研究科の方に、当日の教室の手配などをお願いする旨が伝えられた。

3. 新入会員について

広報委員より、新入会員の状況について伝えられた。

2023年10月頃の入会申込フォームの変更後、33名の個人会員、1名の法人会員の申込があったことが報告され、承認された。

なお、コロナ明け後の過去2回の大会（2023年11月、2024年3月）の理事会において、入会承認が行われておらず、かなりの人数が仮入会のままであったことが説明された。また、入会申込フォームの変更前のデータが不明であり、そのため、何人かの入会申込が登録できていない（データを確認できない）ことについても説明された。新入会申込フォームに登録された33名については、会長の文面を作成し、広報委員よりBCCにて、該当者に対し、配信することを決定した。

4. 研究大会司会進行・コメンテーターの選定について

会長より、前大会より、発表者自身で司会・コメンテーターを選んでもらう方法に変更されたことが伝えられた。今後もその方針であるが、2名推薦するというのがやや負

担であること、また、一般的な学会であれば自分で選ぶということはあまりないことも話し合われた。最終的に、現在の方法を継続すること、「ご推薦してもらおう」ということが確認された。

#### 5. 学会誌の編集について

編集委員より、学会誌の応募数と査読結果について方向があった。今回より、査読料として1万円を取るようになったことについて、掲載料とすべきかどうかについて話し合われた。

現在は文部科学省からの補助金も無く、入会金無しの学会であり、学会誌の発行には経費が掛かるため、継続することが確認された。

査読料だけというよりは、編集や発行も兼ねた金額であることを明記してはどうかとの意見が出た。